

科目名称：京都大学公開森林実習II –夏の北海道東部の人と自然の関わり–

- 単位数：1 単位
- 担当教員：小林 和也、杉山 賢子
- 実施時期：2022年8月7日（日）～ 8月11日（木）
- 集合時刻：2022年8月7日（日） 17:00
- 集合場所：JR釧網線 標茶駅

実施場所：京都大学フィールド科学教育研究センター 北海道研究林標茶区

〒088-2339 北海道川上郡標茶町多和553番地

Tel: 015-485-2637 Fax: 015-485-4016

Web: <http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/hokkaido/>

E-mail: hokuken@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

対象学生：他大学の全学部、主として2・3年次生対象

定 員：5 名

実習課題：北海道東部の自然環境と人のつながりを学ぶ

到達目標：北海道における冷温帯林の生態系についての基礎知識を理解する。昆虫と樹木を中心とした動植物の同定・調査手法を修得する。北海道における森林施業について知る。データ解析の基礎を習得する。

実習内容：本実習では、北海道東部の森林生態系と人の関わりについて森林調査や林業体験などの野外活動を通して理解を深めることを目的として行う。実習では、北海道における森林生態系の基礎知識、特に昆虫と樹木を中心とした動植物の同定手法および種組成の基本的な調査手法を修得するとともに、北海道における森林施業を学び、チェンソーを使った間伐実習などを行う。また、取得したデータの解析手法を学ぶ。

成績評価：講義と野外実習、レポート作成への積極性や知識の習得状況（レポート）により総合的に判断する。講義と野外実習、レポート作成への積極性(40%)や知識の習得状況（レポート：60%）により総合的に判断する。

実習日程

第1日：JR釧網線 標茶駅集合、北海道研究林管理棟においてガイダンス

道東の自然環境に関する講義、樹木識別実習

第2日：研究林での生物相調査および間伐実習

天然林および人工林での調査と伐採体験

第3日：トラップの回収とデータ解析

データのとりまとめとディスカッション

第4日：摩周湖・硫黄山・釧路湿原の生物相観察

第5日：JR釧網線 標茶駅解散（朝8時40分ごろ）

参加費用：10,000円程度（滞在中の宿泊費および食費実費）

集合・解散場所（JR標茶駅）と居所間の交通費は別途自己負担

※新型コロナウイルス感染症対策として以下のお願いをしています

- ・実習前の2週間(7/23-8/6)に、法務省・厚生労働省が定める諸外国への渡航歴のある方、新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者、濃厚接触者などの利用はお断りしています
- ・体調不良(熱、せき、倦怠感・喉の痛み、味覚障害など)の方の利用はお断りしています
- ・北海道や経由地での緊急事態の宣言や移動自粛の要請により利用をお断りする可能性があります

提出書類：自大学の教務(学務)担当者と相談の上、下記の書類を提出すること。

下記、IとIIの受入身分の違いによって提出期限と提出書類が異なるので注意すること。

I. 京都大学農学部特別聴講学生となる場合 6月10日(金)必着

以下の書類を整えて、所属する学部の教務掛等から提出すること。

- ①学部長等の依頼書(別紙様式1)
- ②履修願(別紙様式2)
- ③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

II. 京都大学農学部特別聴講学生とならない場合 7月15日(金)必着

以下の書類を希望学生自身が提出すること。ただし、指導教員、クラス担任等の承諾が必要。

- ② 受講願(別紙様式3)
- ②学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

提出先：京都大学フィールド科学教育研究センター 教育関係共同利用拠点事務局 宛
(封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書きすること。)

住所：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

TEL：075-753-6443 FAX：075-753-6443 Email：akh@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

保険について：学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。また、旅行保険に加入することを推奨する。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談すること。

キャンセル：定員があるため、受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に、直前になってキャンセルすることのないように日程等をよく検討してから申し込むこと。